

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市新田児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 57,689人 (前年度比 105.0%) 平成29年度 54,934人 平成28年度 48,596人 平成27年度 48,113人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 53,635千円 (53,288千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、入学からの1か月間、新1年生の安全を守るため学校から児童館まで職員が引率するとともに、緊急時の対応を示した冊子「子どもの安全を守るために」を作成し、保護者に常時携行を呼びかけるなど、安全を重視した取り組みを行っている。保護者との連携にも努め、カフェ形式の保護者会や夕方カフェ、親子対象や父親対象の行事等は参加しやすく、保護者同士の交流や職員との情報共有の場となっている。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">加点評価</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>		加点評価	—
加点評価	—		

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》	
<p>①年間来館者が50,000名を超えた。児童クラブ利用者数の増加もあるが、子育て世帯と中学生の増加が続いている。児童館まつりは地域内での認知も高く、1,145名が来館した。切り絵ワークショップや地域公開セミナーも含め、地域の多世代が児童館を子ども&子育ての拠点として認知していることがわかる。</p> <p>②子どもが中心となって行ってきた「でんでんたいむ」は、今年度に入って子どもまつりの企画運営までを担う事ができ、子どもの参画が大きく前進した一年となった。子どもの参画段階に合わせた職員の支援のあり方を研鑽することも肝要である。</p> <p>③中学生の放課後利用が増加。中高生向け「夏ひろば」の開催と小学生向け「お泊まり会」へのボランティアを募った。その結果、自らボランティアとして中高生が数名参画し、異年齢の交流が広がった。小学生にとって身近に感じる先輩として存在が大きくなった。</p> <p>④新田地域及び近隣の保育園等や子育て支援団体などで構成する「NOKISITAねっと」は、情報交換に留まらず地域の子育て諸課題等を共有するまでとなった。宮城野区保健師の参加により、市民協働による子育て支援の課題解決に繋げたい。</p> <p>⑤新田小との関係は、協働して児童の理解に取り組む方向へと発展している。日常共有のほか教職員同士の意見交換会や双方の往来が増え、子どもの心身の安定に繋がっている。</p> <p>⑥新田地区連合町内会の一員として、コミセンまつりや総合防災訓練に参加、総会や諸会議にも出席している。地域連絡会は何でも本音で相談できる場である。</p> <p>⑦大規模化及び分散化が進む児童クラブは、保護者の理解のもと、職員が補充し合い「チーム児童館」で遂行できた。「そあとの庭」ワークショップは太白区坪沼地区での自然体験を通して、学びと子どもの繋がりを深めた。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童館を活動の拠点としている「NOKISITAネット」は、子育て中の母親のサークルと子育てを支援する施設や諸団体等が、相互に情報を発信したり共有したりする場となっており、新田地区の子育てネットワーク機能として定着している。また、子育て中の母親のリフレッシュの場となっている「新田カフェ」や育児パパの出会いとつながりの場となっている「パパ・グランパ」を定期的実施しているほか、子育てセミナーや乳幼児フェスティバルの開催、宮城野地区子育て支援者会への参加等、子育て支援活動に積極的に取り組んでおり、評価できる。</p> <p>健全育成事業では、子どもたちが中心となって毎月の行事を企画する「でんでんタイム」を行っているほか、子どもの自主性を尊重する「お泊まり会」や「児童館まつり」、「でんでんまつり」を実施している。日常的に高学年を中心とした自由来館児童の利用も多く、子どもの遊びや居場所として児童館が地域に定着している。夏休み前には、「子ども会議」を開き、持ち物等のルールを自分たちで決めるなど、子どもの意見を児童館運営に生かす活動にも取り組んでいる。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">S</div>

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室